



平成31年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成31年2月7日

上場会社名 リゾートトラスト株式会社 上場取引所 東・名  
 コード番号 4681 URL <https://www.resorttrust.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 伏見 有貴  
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 業務部門 (氏名) 井内 克之 (TEL) (052) 933-6519  
 管掌 兼COO  
 四半期報告書提出予定日 平成31年2月8日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け IR電話会議)  
 (百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	114,394	7.7	9,352	2.5	9,947	△5.5	5,959	△6.2
30年3月期第3四半期	106,262	7.9	9,121	6.5	10,521	11.9	6,350	△11.6

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 4,985百万円(△28.7%) 30年3月期第3四半期 6,995百万円(186.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	55.72	51.25
30年3月期第3四半期	59.51	54.70

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
31年3月期第3四半期	410,433	125,365	29.4
30年3月期	421,440	125,190	28.7

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 120,856百万円 30年3月期 120,762百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期	—	23.00	—	23.00	46.00
31年3月期	—	23.00	—	—	—
31年3月期(予想)	—	—	—	23.00	46.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	183,600	11.0	19,000	7.1	19,500	0.4	12,400	4.8	115.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

31年3月期3Q	108,520,799株	30年3月期	108,520,799株
31年3月期3Q	1,492,882株	30年3月期	1,662,070株
31年3月期3Q	106,952,793株	30年3月期3Q	106,717,778株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページをご覧ください。

・決算補足説明資料については、本日、当社ホームページ(投資家情報-IR資料)に「決算説明資料」を掲載いたします。(https://www.resorttrust.co.jp/ir/)

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	12
(追加情報) .....	12
(セグメント情報等) .....	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

①当第3四半期連結累計期間の概況

※当第3四半期連結累計期間の「計画」については、平成30年5月14日付の公表数値に基づいております。

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	106,262百万円	114,394百万円	121,000百万円	+7.7%	△5.5%
営業利益	9,121百万円	9,352百万円	9,500百万円	+2.5%	△1.6%
経常利益	10,521百万円	9,947百万円	10,000百万円	△5.5%	△0.5%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	6,350百万円	5,959百万円	6,100百万円	△6.2%	△2.3%

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境や企業収益の改善が持続し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

このような状況下、当社グループの当第3四半期連結累計期間の状況は、平成30年2月に開業した「芦屋ベイコート倶楽部」、並びに、平成30年4月に開業した「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」のホテル運営収益が業績貢献したほか、平成28年8月に販売を開始した「ラグーナベイコート倶楽部」の会員権販売が好調に推移したことなどにより、売上高は114,394百万円（前年同期比7.7%増）、営業利益は9,352百万円（前年同期比2.5%増）、経常利益は9,947百万円（前年同期比5.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は5,959百万円（前年同期比6.2%減）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。なお、報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。また、第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い、事業セグメントの区分方法を見直しております。前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は変更後の区分方法で算出しております。

②セグメントの業績概況

【会員権事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	20,833百万円	26,144百万円	27,090百万円	+25.5%	△3.5%
セグメント利益	5,525百万円	6,946百万円	6,590百万円	+25.7%	+5.4%

会員権事業におきましては、平成29年12月に販売を開始した「横浜ベイコート倶楽部」等の会員権販売が好調に推移したこと、平成30年4月に「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」が開業したことで、それまで繰り延べられてきた不動産収益が一括収益計上されたことなどにより増収増益となりました。

【ホテルレストラン等事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	61,665百万円	62,095百万円	65,800百万円	+0.7%	△5.6%
セグメント利益	4,694百万円	3,849百万円	4,650百万円	△18.0%	△17.2%

ホテルレストラン等事業におきましては、平成30年2月に開業した「芦屋ベイコート倶楽部」、並びに、平成30年4月に開業した「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」のホテル運営収益が業績へ寄与した一方で、減価償却費等の費用が増加したことなどにより増収減益となりました。

【メディカル事業】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	23,224百万円	25,663百万円	27,600百万円	+10.5%	△7.0%
セグメント利益	4,006百万円	4,567百万円	4,380百万円	+14.0%	+4.3%

メディカル事業におきましては、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員増加に伴う年会費収入等の増加のほか、シニアレジデンスの運営施設拡大、健診事業や化粧品、サプリ等物販事業が拡大したことなどにより増収増益となりました。

【その他】

	前第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (実績)	当第3四半期 連結累計期間 (計画)	前年同期比	計画比
売上高	539百万円	490百万円	510百万円	△9.0%	△3.8%
セグメント利益	378百万円	391百万円	380百万円	+3.5%	+3.1%

その他におきましては、連結子会社であるアール・ティー開発(株)において賃貸物件が減少したことに伴い、オフィスビルの賃貸料収入が減少した一方で、固定資産税、減価償却費等の費用が減少したことなどにより減収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産等の状況に関する分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は410,433百万円(前連結会計年度比2.6%の減少)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、販売用不動産が3,769百万円、建設仮勘定が4,579百万円、それぞれ増加した一方で、投資有価証券が19,609百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債合計は285,068百万円(前連結会計年度比3.8%の減少)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、短期借入金が5,357百万円、前受金が6,118百万円、前受収益が3,966百万円、それぞれ増加した一方で、一年以内返済予定長期借入金が17,289百万円、未払金が8,440百万円、それぞれ減少したことなどによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は125,365百万円(前連結会計年度比0.1%の増加)となりました。これは、前連結会計年度末に比べ、その他有価証券評価差額金が950百万円減少した一方で、利益剰余金が974百万円増加したことなどによるものであります。その結果、当第3四半期連結会計期間末における自己資本比率は29.4%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年5月14日に公表した当期の業績予想に変更はありません。通期連結業績予想は以下のとおりです。

平成31年3月期 通期連結業績予想数値（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

	前連結会計年度 (実績)	当連結会計年度 (計画)	増減比
売上高	165,413百万円	183,600百万円	+11.0%
営業利益	17,742百万円	19,000百万円	+7.1%
経常利益	19,422百万円	19,500百万円	+0.4%
親会社株主に帰属する 当期純利益	11,830百万円	12,400百万円	+4.8%

通期業績見通しについては、平成30年2月に開業した「芦屋ベイコート倶楽部」が通期稼動するほか、平成30年4月に「エクシブ六甲サンクチュアリ・ヴィラ」が開業、平成31年3月に予定している「ラグーナベイコート倶楽部」が開業を迎えることに伴い、それまで繰延べられてきた不動産収益が一括収益計上されることに加え、メディカル事業において、総合メディカルサポート倶楽部「グランドハイメディック倶楽部」の会員数の増加に伴う、会費収入の増加のほか、シニアレジデンスの運営施設拡大、健診事業や化粧品、サプリ等物販事業の拡大が見込まれることなどから、当社グループ全体として売上高 183,600百万円（前年同期比 11.0%増）、営業利益 19,000百万円（同 7.1%増）、経常利益 19,500百万円（同 0.4%増）、親会社に帰属する当期純利益 12,400百万円（同 4.8%増）を見込んでおります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,366	28,804
受取手形及び売掛金	7,689	8,891
営業貸付金	44,041	46,476
有価証券	6,404	6,641
商品	972	1,150
販売用不動産	22,776	26,546
原材料及び貯蔵品	1,374	1,705
仕掛販売用不動産	28,116	23,573
その他	6,303	7,533
貸倒引当金	△950	△990
流動資産合計	146,094	150,332
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	94,830	94,997
機械装置及び運搬具（純額）	2,765	2,657
コース勘定	7,591	7,591
土地	38,302	38,250
リース資産（純額）	6,689	6,179
建設仮勘定	15,700	20,279
その他（純額）	4,721	4,100
有形固定資産合計	170,600	174,058
無形固定資産		
のれん	4,121	3,784
ソフトウェア	4,240	3,917
その他	2,638	3,446
無形固定資産合計	11,001	11,148
投資その他の資産		
投資有価証券	64,724	45,115
関係会社株式	1,390	1,389
長期貸付金	6,163	6,264
退職給付に係る資産	1,219	1,158
繰延税金資産	7,596	7,244
その他	13,486	14,488
貸倒引当金	△835	△766
投資その他の資産合計	93,744	74,893
固定資産合計	275,345	260,100
資産合計	421,440	410,433

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,355	1,833
短期借入金	8,958	14,316
1年内返済予定の長期借入金	19,119	1,830
1年内償還予定の社債	2,750	250
リース債務	848	849
未払金	16,825	8,384
未払法人税等	4,741	650
未払消費税等	1,642	988
前受金	28,564	34,682
前受収益	13,975	17,942
債務保証損失引当金	179	93
その他	7,192	7,316
流動負債合計	106,153	89,137
固定負債		
社債	700	575
新株予約権付社債	29,855	29,823
長期借入金	32,069	38,879
リース債務	6,343	5,780
繰延税金負債	829	812
役員退職慰労引当金	2,131	2,114
株式給付引当金	1,294	1,640
退職給付に係る負債	1,755	1,893
長期預り保証金	33,693	33,031
償却型長期預り保証金	67,847	67,424
負ののれん	100	10
その他	13,475	13,944
固定負債合計	190,096	195,930
負債合計	296,250	285,068
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	19,590	19,590
資本剰余金	22,192	22,192
利益剰余金	78,770	79,744
自己株式	△2,212	△1,851
株主資本合計	118,341	119,675
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	661	△288
為替換算調整勘定	1,814	1,528
退職給付に係る調整累計額	△55	△59
その他の包括利益累計額合計	2,421	1,180
新株予約権	229	277
非支配株主持分	4,198	4,232
純資産合計	125,190	125,365
負債純資産合計	421,440	410,433



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	106,262	114,394
売上原価	13,578	17,928
売上総利益	92,684	96,465
販売費及び一般管理費		
給料及び賞与	33,028	33,505
役員退職慰労引当金繰入額	80	189
修繕維持費	2,180	2,760
貸倒引当金繰入額	52	48
水道光熱費	3,987	4,210
減価償却費	5,501	6,269
その他	38,733	40,127
販売費及び一般管理費合計	83,563	87,112
営業利益	9,121	9,352
営業外収益		
受取利息	1,687	1,179
受取配当金	54	58
負ののれん償却額	90	90
持分法による投資利益	13	14
為替差益	49	10
貸倒引当金戻入額	64	75
債務保証損失引当金戻入額	18	—
その他	411	238
営業外収益合計	2,389	1,667
営業外費用		
支払利息及び社債利息	484	525
債務保証損失引当金繰入額	—	51
前受金保証料	63	44
控除対象外消費税等	313	353
その他	126	98
営業外費用合計	988	1,073
経常利益	10,521	9,947

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
<b>特別利益</b>		
固定資産売却益	164	146
投資有価証券売却益	16	504
投資有価証券償還益	39	—
関係会社株式売却益	4	4
受取補償金	86	—
その他	—	9
特別利益合計	311	664
<b>特別損失</b>		
固定資産除却損	155	34
減損損失	—	104
固定資産売却損	385	27
投資有価証券売却損	—	495
投資有価証券償還損	59	—
役員退職慰労金	34	40
寄付金	—	203
その他	47	—
特別損失合計	683	905
税金等調整前四半期純利益	10,149	9,706
法人税、住民税及び事業税	3,065	2,673
法人税等調整額	547	806
法人税等合計	3,613	3,479
四半期純利益	6,536	6,226
非支配株主に帰属する四半期純利益	185	267
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,350	5,959

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	6,536	6,226
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,520	△950
為替換算調整勘定	△1,067	△286
退職給付に係る調整額	6	△4
その他の包括利益合計	459	△1,241
四半期包括利益	6,995	4,985
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,809	4,718
非支配株主に係る四半期包括利益	186	267

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	10,149	9,706
減価償却費	6,181	7,081
減損損失	—	104
のれん及び負ののれん償却額	484	357
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△25	△29
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	173	179
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△57	△16
受取利息及び受取配当金	△1,741	△1,237
支払利息及び社債利息	484	525
為替差損益(△は益)	△43	△11
売上債権の増減額(△は増加)	△793	△3,583
たな卸資産の増減額(△は増加)	△8,654	△411
仕入債務の増減額(△は減少)	612	480
未払金の増減額(△は減少)	△10,665	△6,657
前受金の増減額(△は減少)	14,072	6,118
長期預り保証金の増減額(△は減少)	△1,952	△1,085
未払消費税等の増減額(△は減少)	1,879	△636
その他	3,954	2,822
小計	14,060	13,706
利息及び配当金の受取額	2,005	1,566
利息の支払額	△489	△543
法人税等の支払額	△6,532	△7,816
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,044	6,913
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△3,077	△6,020
定期預金の払戻による収入	810	77
有価証券の取得による支出	△7,610	△6,645
有価証券の売却及び償還による収入	6,617	3,390
投資有価証券の取得による支出	△1,040	△3,001
投資有価証券の売却及び償還による収入	11,772	21,209
関係会社株式の取得による支出	△14	△4
関係会社株式の売却による収入	14	14
有形及び無形固定資産の取得による支出	△19,725	△12,566
貸付けによる支出	△1,431	△532
貸付金の回収による収入	120	133
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△1,398	—
その他	543	△565
投資活動によるキャッシュ・フロー	△14,419	△4,510

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	87	4,954
長期借入れによる収入	590	8,321
長期借入金の返済による支出	△3,962	△18,800
社債の償還による支出	△425	△2,625
自己株式の取得による支出	△1	△0
自己株式の処分による収入	359	207
配当金の支払額	△4,984	△4,984
非支配株主への配当金の支払額	—	△240
その他	1,933	1,233
財務活動によるキャッシュ・フロー	△6,403	△11,934
現金及び現金同等物に係る換算差額	45	12
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△11,732	△9,518
現金及び現金同等物の期首残高	40,365	32,469
連結の範囲の変更に伴う現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	66	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,698	22,950

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

当第3四半期連結累計期間 (自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日)
「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示し、繰延税金負債は固定負債の区分に表示しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	20,833	61,665	23,224	105,723	539	106,262
セグメント間の内部売上 高又は振替高	8	1,772	72	1,853	571	2,425
計	20,842	63,437	23,296	107,577	1,110	108,687
セグメント利益	5,525	4,694	4,006	14,227	378	14,605

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	14,227
「その他」の区分の利益	378
全社費用(注)	△5,484
四半期連結損益計算書の営業利益	9,121

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自 平成30年4月1日 至 平成30年12月31日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注)	合計
	会員権事業	ホテルレスト ラン等事業	メディカル 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,144	62,095	25,663	113,903	490	114,394
セグメント間の内部売上 高又は振替高	14	1,675	122	1,812	578	2,391
計	26,159	63,771	25,785	115,716	1,068	116,785
セグメント利益	6,946	3,849	4,567	15,363	391	15,755

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸業、別荘管理業等を含んでおります。

2 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	15,363
「その他」の区分の利益	391
全社費用 (注)	△6,403
四半期連結損益計算書の営業利益	9,352

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、組織変更に伴い、事業セグメントの区分方法を見直し、従来「会員権事業」に含めておりましたゴルフ会員権販売及びゴルフ事業子会社2社については「ホテルレストラン等事業」へ含め、「ホテルレストラン等事業」に含めておりました株式会社日本スイスパーフェクションについては「メディカル事業」に含めております。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

4 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「ホテルレストラン等事業」セグメントにおいて、施設の閉鎖等に伴い、当第3四半期連結累計期間に104百万円の減損損失を計上しております。

(のれんの金額の重要な変動)

「メディカル事業」セグメントにおいて、当社子会社トラストガーデン株式会社が、介護付有料老人ホーム「らいふアシスト馬車道」を吸収分割により承継したことにより、のれんが発生しております。

なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第3四半期連結累計期間においては110百万円であります。